

科目番号	EB212				
科目名	林業架線学(実習)				
担当教員	古川 和繫 (森林大学校専任教員) 岩崎 幸太郎(森林大学校専任教員)				
科目区分	林業機械	人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年		授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	30		コマ	(60 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目	—	左の実務経験の内容	—		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○	左の実務経験の内容	林業架線作業主任者		
実務経験を活かした授業内容	林業架線作業主任者の指導のもと、架線集材に関する安全な操作技術等を学ぶ				

目的	林業架線作業に必要な技能を習得するとともに、林業架線作業主任者免許取得を目指す。				
概要	林業架線作業に必要な技能を習得。				
キーワード	林業架線、林業架線作業主任者				
関連する科目					
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得			
		森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得			
		多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得			
評価方法	態度50%、課題30%、出席20%				

授業計画	テーマ	講義内容
1～4.5	ワイヤーロープの取扱い	ワイヤーロープの止め方、つなぎ方、点検 (4.5コマ×1日(6.75h)) 特別教育〔実技 4時間(実時間)〕 〔伐木・造材6.75h〕
4.6～13.5	機械集材装置の点検・据付 機械集材装置の運転 主索の安全係数の点検	装置の点検と据付並びに運転、主索の安全係数 特別教育〔実技 4時間(実時間)〕 (4.5コマ×2日=9コマ(13.5h)) 〔伐木・造材13.5h〕
13.6～30	架線集材作業の事例調査等 集材架線設計実習	事例調査等 (4.5コマ、4コマ×2日=12.5コマ(18.75h)) 〔伐木・造材18.75h〕
	機械集材装置の撤収	装置の撤収等 (4コマ×1日(6h)) 〔伐木・造材6h〕
		〔計45h〕

テキスト	集材機運転者安全必携:特別教育用テキスト(林業・木材製造業労働災害防止協会) 林業架線作業主任者テキスト(林業・木材製造業労働災害防止協会)
参考書	
関連する資格	機械集材装置運転特別教育
備考	